

技術提案書作成要領

1. 技術提案書の提出について

本技術提案書は、江戸川区立鎌田小学校改築工事に係る基本設計及び実施設計業務委託プロポーザル参加表明書を提出した事業者が提案（プロポーザル）を行うためのものである。以下の要領に基づき提出すること。

2. 提案項目について

(1) 業務の実施方針（様式8）（A4判1枚）

本件業務、提案事項及び監理業務を実施するにあたっての取組方針、体制（協力事務所がある場合は、その体制を含む。）、特に配慮すべき事項などについて簡潔に記載すること。また、入札不調時の対応及び工事発注までの体制を含め提案すること。

(2) テーマ別課題（様式9）（A3判2枚以内）

本プロポーザルにおいては、江戸川区のホームページに掲載する「学校施設改築の基本的な考え方について（第一次報告）」「学校改築における小学校施設のあり方について」「江戸川区立鎌田小学校改築基本構想・基本計画」（想定延床面積及び予定室数は、本実施要項4（5）、（6）及び別添一参考資料1を用いること）を踏まえ、以下の課題について提案すること。

<https://www.city.edogawa.tokyo.jp/kosodate/kyoiku/kyouiku/shiryo/keikaku/kaichiku/index.html>

1) 下記項目についての具体的提案

- ① 学習空間について
- ② 本区に相応しい地震、水害を考慮した学校改築について
参考：江戸川区地震防災マップ（各種）、江戸川区水害ハザードマップ
- ③ 周辺の環境及び既存樹木の活用を考慮した配置・植栽計画について
- ④ 地域性を考慮した学校別デザインについて
下表に示す本地域の地域性を考慮した学校別デザインを踏まえた提案をおこなうこと。

| | |
|---------------------|---|
| 学校別 デザイン | <u>学校周辺に位置する旧江戸川や東井堀親水緑道との景観の調和を図り、東部地域の歴史や伝統、文化を感じられるような空間デザインとする。</u> |
|---------------------|---|

- ⑤ 地域活動の拠点としての機能性・快適性について
「屋内運動場や学校図書館などの地域利用を考慮した配置・動線計画」、
「地域開放した場合の特別教室諸室の開放エリアの段階的セキュリティ
管理について」の二点を含め記載のこと。
- ⑥ 環境、省エネへの配慮やライフサイクルコストの削減について
環境、省エネへの配慮については、CO₂の具体的な削減効果のある提
案、ZEB Ready又はNearly ZEB達成に向けた提案、ライフサイクルコスト
の削減については改修周期・費用、各種点検のしやすさ、光熱費などを
考慮した具体的な提案を記載のこと。

※参考資料

- ・江戸川区都市計画マスタープラン
<https://www.city.edogawa.tokyo.jp/e016/toshikeikaku/kekakunitsuite/kihonplan/toshikeikakumasutapurankaiteishimashita.html>
- ・江戸川区景観計画
https://www.city.edogawa.tokyo.jp/e016/toshikeikaku/keikan/keikan_keikaku/edogawaku.html

2) 本件における敷地利用と教室等の空間構成の提案

- ※1 近時の建築費高騰に鑑み、施工コストが想定事業費に納まるよう、平面計画・延床面積・空間構成及び工法等を計画すること。
- ※2 別添 参考資料－1を考慮して計画すること。
- ※3 計画（提案）にあたっては、敷地周辺状況を十分に考慮した計画とすること。また、新設校舎による隣接地への日影や圧迫感などに配慮すること。（配置図には日影規制による等時間日影ラインについても記載すること）（別添 参考資料－2、3）
- ※4 災害時に避難所となることを想定し、ハザードマップを考慮した上で、屋内運動場、物資・資機材倉庫、受水槽及びプール（消防用水）は原則2階以上に設置すること。
- ※5 重要設備機器（キュービクル、空調室外機、中圧ガスガバナ及び低圧ガスメーター）の水害対策を計画すること。
- ※6 太陽光パネルを20kw以上設置し、将来増設できるスペースを計画すること。
- ※7 文部科学省「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」を参考に、多様な学びを考慮した計画とすること。
- ※8 グラウンドは、運動会等を考慮した計画とすること。また、体育が可能

な有効面積やトラック・直線路を記載すること。

※9 上記1)の各項目についての提案説明を付記すること。

(3) 設計工程計画(様式10)(A4判1枚)

(4) 基本設計・実施設計業務及び工事監理業務の見積額(様式11)(A4判1枚)

3. 技術提案書の内容

- (1) 技術提案書は、別添の様式に基づき作成する。様式に既に記載されている文字等は削除・変更しないこと。ただし、枠線および文字の大きさと書体については、見やすさを損なわない範囲で調整可能とする。
- (2) 用紙の大きさは様式8、11がA4判タテ(片面印刷)、様式10がA4判ヨコ(片面印刷)、様式9がA3判ヨコ(片面印刷)とする。
- (3) 「技術提案書表紙」の提出者欄には、担当者のEメールアドレスを記入すること。
- (4) 設計共同企業体で参加するものは「技術提案書表紙B」に必要事項を記入すること。
- (5) 本件に係る実際の設計担当チームが作成し、記入する。
- (6) 各様式の記載要領は次のとおりとする。

① 様式8に記載する内容は下記のとおりとする。

- ア. 本件業務、提案事項及び管理業務を実施するにあたっての取組方針、体制(協力会社がある場合は、その体制を含む。)、特に配慮すべき事項などについて簡潔に記載すること。
- イ. 文章を補完するために図、表、簡単なイラスト、簡易な外観イメージ図等の使用は認める。
- ウ. 記入する文字の大きさは11ポイント以上とする。
※ただし、図中等の文字はこの限りではないが、見やすさには配慮すること。
- エ. 提案者(事業者名等)が特定できる内容は記載しないこと。

② 様式9に記載する内容は、下記のとおりとする。

- ア. テーマ別課題1)、2)を簡潔に記載すること。
なお、テーマ別課題①～⑥の提案する空間構成がどの場所に反映されたのかがわかるよう、項目毎に引出し線等でその「見出し(提案内容)」を付けること。
- イ. 文章を補完するために図、表、簡単なイラスト、簡易な外観イメージ

図等の使用は認める。

ウ. 記入する文字の大きさは、11ポイント以上とする。

※ただし、図中等の文字はこの限りではないが、見やすさには配慮すること。

エ. 提案者（事業者名等）が特定できる内容は記載しないこと。

③ 様式11は、基本設計・実施設計業務及び工事監理業務に係る業務委託金額の見積額を記載すること（消費税10%を含む）。工事監理業務料見積額については、別添 参考資料-4に示す業務内容を想定したうえで提案すること。なお、工事監理業務料見積額については、審査の評価に含まれないが、監理業務委託を発注する際の参考とする。

（監理業務委託：予定限度額 91,400千円（消費税含む））

（7）提出書類について、この書面及び別添の所定様式に示された条件に適合しない場合は、無効とすることがある。

4. 技術提案書の提出

技術提案書の提出は以下による。

- （1）提出様式：A4判とし、本要領に定められた様式とする（A3判はA4サイズに折込むこと）。
- （2）提出部数：技術提案書に提出者住所・会社名等の記載をして押印したものの（正本）を2部（左2か所ホチキス綴じ+穴あけ）、技術提案書に提出者住所・会社名等を一切記載しないものを14部（左2か所ホチキス綴じ+穴あけ）。以上16部。
また、技術提案書一式のPDFデータ（正本）をCD1枚（ラベル面に業務名、会社名を記入）にて提出のこと。
*なお、指定の様式以外に、背表紙ならびにファイル等を付加したものやコーティング紙の使用を禁ずる。
- （3）提出場所：〒132-8501 江戸川区中央1丁目4番1号
江戸川区役所 都市開発部 学校建設技術課
電話：03-5662-8729 FAX：03-5879-3380
- （4）提出期限：令和6年6月10日（月）午後5時まで。必着。
- （5）提出方法：持参または郵送（書留郵便）とする（宅配便可）

5. 提案書に関するヒアリング

第一次審査で選定された参加者に対して、以下のとおりヒアリングを実施する。

- (1) 実施場所 : 別途通知する。
- (2) 実施日時 : 令和6年7月16日(火)(予定)
- (3) 出席者 : 総括責任者、意匠担当主任技術者を含め3名以内
なお、詳細については別途通知する。

6. その他

- (1) 要求された内容以外の書類、図面等については受理しない。
- (2) 提出された技術提案書は返却しない。
- (3) 技術提案書は日本語で記述すること。